

特定非営利活動法人  
新生児臨床研究ネットワーク  
賛助会員募集  
趣意書

特定非営利活動法人  
新生児臨床研究ネットワーク  
理事長 楠田 聡  
東京女子医科大学母子総合医療センター  
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1  
TEL : 03-5269-7344 / FAX : 03-5269-7615  
E-mail: [nponrn.ae@twmu.ac.jp](mailto:nponrn.ae@twmu.ac.jp)  
HP: <http://nponrn.umin.jp>

## 趣意書

平素より格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の新生児医療レベルは国際的に高い水準を過去 20 年以上維持しております。その結果、新生児死亡率は先進国のなかで一番低くなっています。しかしながら、新生児医療に関する臨床研究のレベルは必ずしも世界のトップではありません。むしろ後進国の状態です。その理由は、わが国の新生児医療現場では、目の前のハイリスク児を救命することに多くの時間を取られ、臨床研究を行う時間的余裕が無かったことがあります。さらに、わが国には新生児の臨床研究を継続してサポートする組織が存在していなかったことも大きな理由です。わが国の臨床研究は、一部の大学あるいは病院の新生児科医が個人的に努力することによって維持されてきました。一方、欧米では、新生児の臨床研究を継続して支援する組織があり、個々の医師の努力ではなく、組織的に大規模な臨床研究を実施する素地が整備されています。その結果、欧米のハイリスク児の予後は急速に改善し、わが国との差は着実に縮まっている状況です。この状態が続けば、近い将来逆転する可能性があります。そこで、わが国でも、平成 16 年の厚生労働科学研究事業として、「周産期母子医療センターネットワーク」の構築に関する研究班が組織されました(研究代表者:大阪府立母子保健総合医療センター名誉総長 藤村正哲)。そして、新生児臨床研究ネットワーク (NRNJ: Neonatal Research Network Japan) が整備されました。その結果、ハイリスク児のデータベースが整備されるとともに、複数の多施設共同臨床試験が行われました。そして、新生児の予後を改善できる多くの治療法の研究結果が報告されました。

しかしながら、この研究班自体は平成 24 年度に終了しました。わが国の新生児医療水準の向上に大きく貢献してきたこのネットワークの活動をここで止めることは、今後のわが国の新生児医療にとって大きなマイナスです。そこで、このネットワークを特定非営利活動法人として再編成し、今後も運営していきたいと考えた次第です。是非わが国の誇りの一つでもある新生児臨床研究体制を今後も高い水準に保っていこうではありませんか。多くの方々にこの趣旨に賛同して頂き、この会の運営に対して、是非支援をお願いしたいと思います。なにとぞ格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成 26 年 4 月吉日

理事長：楠田 聡

副理事長：藤村正哲

理事：多田 裕、中村 肇、仁志田博司、戸苅 創、田村正徳、板橋家頭夫

監事：堺 武男、船戸正久

## 賛助会員募集要項

1. 会の名称： 特定非営利活動法人 新生児臨床研究ネットワーク
2. 会の定款： HP 参照 (<http://nponrn.umin.jp>)
3. 賛助会員会費： 1口 100,000 円/年
4. 会費の使途： 新生児臨床研究ネットワークの運営費
5. 申し込み先： NPO 法人新生児臨床研究ネットワーク  
東京女子医科大学母子総合医療センター  
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1  
TEL：03-5269-7344 / FAX：03-5269-7615  
E-mail: [nponrn.ae@twmu.ac.jp](mailto:nponrn.ae@twmu.ac.jp)
6. 振込先： 三菱東京 UFJ 銀行 東京女子医大出張所 (店番号 315)  
普通口座 0033641  
特定非営利活動法人新生児臨床研究ネットワーク  
トクヒ) シンセイジリンショウケンキュウネットワーク

## 賛助会員申込書

平成 年 月 日

特定非営利活動法人新生児臨床研究ネットワークの事業に賛同し、下記の口数の賛助会員として申し込みます。

1. 賛助会員口数  
口（金 円也）
2. 賛助会員名（領収書発行名）
3. 住所（領収書・決算報告書ご送付先）
4. 担当者名（領収書・決算報告書ご送付先）
5. 担当者連絡先  
電話  
FAX  
E-MAIL.
6. 振込予定日  
平成 年 月 日